

# 大会運営危機管理マニュアル



平成24年3月

山口県中学校体育連盟調査研究部



# 大会運営危機管理マニュアル

山口県中学校体育連盟調査研究部

大会運営中もしくはその前後に緊急事態等が発生し、または発生する恐れがある場合に、その発生を防御、または拡大防止に努め、各種大会及び運動部活動の安全な運営に努めるため、各団体が実施すべき措置等を以下にまとめた。

## 第1節 災害等に備えて

- 1 日頃から気象情報に関心を持つ
- 2 大会・活動の判断と告知を行う
- 3 練習・試合会場の状況を把握する【安全チェックリスト】
- 4 防災について打ち合わせる機会を設ける【監督打合せ等】
- 5 生徒・役員・引率者等の安全確保に努める【地震・集中豪雨の初期対応】
- 6 速やかな報告により再発防止に努める【データの活用】
- 7 各種目ごとに連絡網の整備に努め速やかな報告・連絡・相談を心がける
- 8 役員・選手への防災教育と自主防災組織の確立に努める
- 9 自然環境に対する留意点【熱中症の予防について】
- 10 心のケア（PTSD・恐怖症・不安症などへの対応）
- 11 災害応急対策計画の作成に向けてのアンケート調査結果【参考資料】

## 第2節 気象予報・警告等の発表

### 1 注意報とは

注意報とは、県内のいずれかの地域において、気象現象等によって災害の起こる恐れがある場合に地方気象台より発表される。その基準は以下の目安がある。

種類	発表基準
大雨注意報	大雨によって災害が起こると予想され、具体的には次の条件に該当する場合 1時間 雨量 30mm以上になると予想される場合
洪水注意報	洪水によって災害が起こると予想され、具体的には次の条件に該当する場合 1時間 雨量 30mm以上になると予想される場合
地面現象注意報	大雨・大雪等による山崩れ、地すべり等によって災害が起こると予想される場合、他の気象注意報に含めて発表する
浸水注意報	浸水によって災害が起こると予想される場合、他の気象注意報に含めて発表する
雷注意報	落雷等により災害が起こる恐れがある場合
波浪注意報	風浪、うねり等によって災害が起こると予想され、具体的には次の条件に該当する場合。有義波高が1.5m～3m以上になると予想される場合

## 2 警報とは

警報とは、県内いずれかの地域において気象現象によって重大な災害の起こるおそれがある場合に発表される。その基準は以下の目安がある。

種類	発表基準
暴風警報	暴風によって重大な災害が起こるおそれがあると予想され、具体的には次の条件に該当する場合 平均風速が、陸上で20m/s以上、海上で20m/s以上になると予想される場合
暴風雪警報	暴風雪によって重大な災害が起こるおそれがあると予想され、具体的には次の条件に該当する場合 雪を伴い、平均風速が、陸上で20m/s以上、海上で20m/s以上になると予想される場合
大雨警報	大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想され、具体的には次の条件に該当する場合 1時間 雨量 60mm以上になると予想される場合
洪水警報	洪水によって重大な災害が起こるおそれがあると予想され、具体的には次の条件に該当する場合 1時間 雨量 60mm以上になると予想される場合

### 備考

- ※ 発表基準に記載した数値は、山口県における過去の災害発生頻度と気象条件との関係を調査して決めたものであり、気象要素によって災害を予想する際の目安である。
- ※ 警報はその種類にかかわらず、解除または注意報に切り替えになるまで継続される。また、新たな警報が発表されるときには、これまで継続中の警報は自動的に解除、または更新されて、新たな警報に切り替わる。

## 3 気象情報とは

気象等の情報に関係のある台風、大雨、その他の異常気象等について、注意報、警報の発表に先立って一般及び防災関係機関等に知らせたり、その現象が起きた後の状況について解説するなど、防災の効果を上げるために注意報・警報と組み合わせて発表するものである。

対象とする現象により、台風、低気圧、大雨、大雪、雷、乾燥あるいは低温、高温、長雨、少雨、梅雨、黄砂などの情報がある。

#### 4 山口県における注・警報の区域細分

山口県における注・警報の発表区域は下表のとおり、気象要素(雨量、風速、波の高さなど)が基準に達すると予想した区域に対して発表。ただし、大地震で地盤がゆるんだり、火山の噴火で火山灰が積もったりして災害発生にかかわる条件が変化した場合、通常とは異なる基準で発表することがある。

一次細分区域	市町村まとめ	市町村等
北部	萩・美祢	萩市、美祢市、阿武町
	長門	長門市
東部	岩国	岩国市、和木町
	柳井・光	光市、柳井市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町
中部	周南・下松	周南市、下松市
	山口・防府	山口市、防府市
西部	下関	下関市
	宇部・山陽小野田	宇部市、山陽小野田市

<http://www.fukuoka-jma.go.jp/shimonoseki/> (下関地方气象台HP)

### 第3節 気象予報・警告等の情報収集

気象庁観測データの基準値超過や注意報・警報の発令情報や防災関連情報等の収集を速やかに行い、防災活動に万全を期するよう心がける。

#### 1 情報収集

- ① 山口県土木防災情報システムにより常時情報収集が可能
- ② 携帯電話の位置情報機能を活用した防災情報提供について

下記のURLからアクセス。

↓↓↓

<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/>

【取得できる情報】

- ・大雨洪水注意報警報
- ・土砂災害警戒情報
- ・洪水予報
- ・降雨分布
- ・土砂災害降雨危険度
- ・土砂災害危険箇所
- ・地域の雨量
- ・地域の水位

【携帯電話の操作マニュアル】

下記のURLより閲覧

↓↓↓

<http://d-keikai.pref.yamaguchi.lg.jp/bousai/manual/manual.pdf>

【災害・気象情報等の情報を公開している機関】

- ① 災害情報  
山口県土木防災情報システム <http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/>
- ② 気象情報
  - ・下関地方气象台 <http://www.jma-net.go.jp/shimonoseki/>  
閲覧資料 気象資料閲覧室があり、気象データや天気図などを閲覧可能。  
利用時間 8:30から17:15（土曜日・日曜日・祝日は利用不可）  
窓 口 下関地方气象台防災業務課（下関地方合同庁舎5階）  
電 話 083-234-4007
  - ・気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
  - ・日本気象協会 <http://www.jwa.or.jp/>
- ③ 河川情報
  - ・山口県土木防災情報システム <http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/>
  - ・国土交通省 <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

- ④ 道路状況
  - ・国土交通省 <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>
  - ・山口県道路情報 <http://road.pref.yamaguchi.jp/gmap/>
  - ・Nexco 西日本 <http://www.jartic.or.jp/> 050-3369-6635
- ⑤ 公共交通機関情報
  - ・JR西日本 <http://www.jr-odekake.net/> (お出かけネット)
  - ・山口県交通運輸対策室 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a162001/index/>
- ⑥ 地震情報
  - ・国土交通省 <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>
  - ・下関地方気象台 <http://www.jma.go.jp/jp/quake/>
  - ・日本気象協会 <http://tenki.jp/earthquake/>

## 第4節 大会・活動実施等の判断

### 【春・秋季山口県中学校体育大会】

収集した情報や関係機関からの注意報・警報等を考慮して、各競技の ① 部長 ② 県 ③ 専門委員 ④ 監督(顧問)等学校関係者 ⑤ 山口県中体連事務局代表者 ⑥ 施設管理者 で十分に協議し、活動・大会実施の判断、大会日程や活動時間の短縮、活動・大会開始の遅延などの措置を講じる。また、状況に応じて山口県中学校体育連盟会長と協議する。場合によっては、県中体連が中止の判断を行うこともある。連絡・指示については別紙【医療・救護等要項】(平成22年度全国中学校体育大会時配布)を参照すること。

### 【山口県選手権大会】

収集した情報や関係機関からの注意報・警報等を考慮して、各競技の ① 部長 ② 専門委員 ③ 監督 ④ 施設管理者 で十分に協議し、活動・大会実施の判断、大会日程や活動時間の短縮、活動・大会開始の遅延などの措置を講じる。また、状況に応じて山口県中学校体育連盟会長と協議する。場合によっては、県中体連が中止の判断を行うこともある。連絡・指示については別紙【医療・救護等要項】(平成22年度全国中学校体育大会時配布)を参照すること。

#### 1 大会基準

大会主催者(山口県中学校体育連盟および各種目専門部)は大会運営にあたり、「競技者・大会関係者および一般地域住民への安全」を最優先に配慮することを確認する。

大会主催者は大会運営にあたり下記の権限を保有する。

- (1) 大会当日において、台風等の悪天候により競技環境の悪化・十分な安全確保が見込めないと判断した場合には競技の内容の変更または中止を決定する権限。

また、その際の中止基準は以下の基準を目安とし、現地で検討する。

### 中止基準(競技中止の目安)

- ① 平均風速20m以上の強風が終日続くおそれのあるとき。
- ② 強風により海上・河川の波の高さが2mを越えるとき。
- ③ 濃霧などにより、会場の視界が100mを切る状態が続くとき。
- ④ 1時間あたりの雨量が60mmを越える、または越える予報が出たとき。
- ⑤ 地面現象(地震等)・雷・波浪の各警報が出されたとき。
- ⑥ 感染症流行時、厚生労働大臣よりフェーズ5 ※1 の宣言が行われたとき
- ⑦ WGBTが31℃を越える状態が続くと予想される時。

※1 世界保健機関(WHO)が、感染が世界的に大流行する危険性や、事前対策を実施する必要性について知らせることを目的として、警戒レベルを1から6の6段階に分類している。フェーズ5は「より大きな集団感染の発生と、世界的な大流行につながる危険性がある」ことを意味する。国内で発生した場合、数字の後にBをつける。

- (2) 競技規則に違反した競技者に対して、失格・競技の中止を宣告する権限。
- (3) 競技技術の未熟さ、過度の疲労・競技中の事故等の理由で競技続行に支障があると判断した競技者またはチームに対して、競技の中止を宣告する権限。

## 2 大会・活動の中止以外の判断

- (1) 1の項では大会・活動の中止についての基準(目安)を示したが、周りの環境は時間とともに変化してゆくものであり、変更の告知後も情報の収集を行うことが必要となる。また、中止に至らない場合は、次のような措置が考えられる。

- ① 大会・活動の遅延(一定の時間が経過した後に予定の活動を行うこと)
- ② 延期(日を改めて予定の活動を行うこと)
- ③ 規模縮小(参加チーム・個人数の制限や競技時間の短縮など)
- ④ 日程の変更または次大会に兼ねる(別の日程で大会・活動をやりなおす、または異なる大会の結果で予定されていた大会の結果を兼ねる)

- (2) 上記項目の遅延するような場合には、活動の再開を判断することが難しく、次のような準備が必要である

- ① リアルタイムで情報が収集できるネットワーク環境があること
- ② 協議の場と協議する役員が待機できる場所の確保
- ③ 熱中症指標計など、測定機器の用意があること
- ④ 再会の告知が速やかかつ全関係者になされること

- (3) 判断結果の告知について

判断結果の告知については、電話連絡やメール配信が考えられるが、判断内容が速く正確に伝わるために専門部役員間はもちろん、顧問・生徒・家庭間の連絡網の整備が望まれる。

学校単位ではメール配信システムの導入が広がっているが、メールグループ分けなどの下準備を行い、非常時に備える心がけも必要となる。別紙『災害も備えあれば大丈夫』の中の、『大会の判断と連絡方法』参照。



### 3 会場の安全管理を日常的に行う

#### ① 【安全チェックリスト】の活用

- ・ 種目別チェック項目例

#### ア 陸上競技(走・跳)

##### 【代表的な事故事例】

- ・ 短距離種目では、スタートした直後やゴール手前で肉離れを起こす選手が多い。
- ・ ハードルでは、ハードリングの際にバランスを崩して転倒し、鎖骨を骨折した。
- ・ リレーでは、バトンパスがうまくいかず、次走者と接触転倒し、骨折した。
- ・ 高跳びの跳躍に失敗し、バーの上に落下、腰椎を打撲した。
- ・ 幅跳びの踏切に失敗し、足首を捻挫した。

施設 ・ 設備 ・ 用具	<input type="checkbox"/> 走路の凹凸など、危険物を事前に確認し、十分整備しているか <input type="checkbox"/> 信号機、紙雷管の安全確認をしているか <input type="checkbox"/> ハードルの腐食や割れなどないか、十分点検・確認をしているか <input type="checkbox"/> スタートブロックの点検は十分か <input type="checkbox"/> 高跳びの支柱・バー・マットの破損はないか <input type="checkbox"/> 砂場を使用する場合は、着地場所を深く掘り起こし、整地されているか <input type="checkbox"/> 器具や用具の整理整頓はなされているか <input type="checkbox"/> 各種目ごとにウォーミングアップの場所が確保されているか
活動 ・ 動	<input type="checkbox"/> 練習の際には事前に安全に対する配慮などの打ち合わせをしているか <input type="checkbox"/> ストレッチングを十分行っているか <input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 炎天下では帽子をかぶって競技や練習を行っているか <input type="checkbox"/> 水分補給や休憩時間について、十分配慮しているか <input type="checkbox"/> 本人の体調などを考慮した計画を立てているか
救急 ・ 体制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## イ 体操競技

### 【代表的な事故事例】

- ・ ひねりのある技を行った際に、着地で膝が内側に入り、靭帯を損傷した。
- ・ マットのつなぎ目に着地し、足首を捻挫した。

施設 ・ 設備 ・ 用具	<input type="checkbox"/> 各器具が助走や着地の際に他の選手と接触していないか <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるなどまぶしい状況はないか <input type="checkbox"/> 鉄棒・平行棒のワイヤーは緩んでいないか、また、傾いていないか <input type="checkbox"/> 器具の老朽化・錆はないか、炭酸マグネシウムは適度についているか <input type="checkbox"/> マットの破損はないか、つなぎ目は離れていないか <input type="checkbox"/> プロテクターやリストバンドに不備はないか <input type="checkbox"/> 器具は、他で練習している選手と接触しないように設置されているか <input type="checkbox"/> 床に異物は落ちていないか
活動 ・ 動	<input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 簡単な技から難しい技へと段階的な練習を行っているか <input type="checkbox"/> 自己の技量に過信せず、能力にあった技に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 習熟度の低い技、難易度の高い技では補助者がつきマットを使用 <input type="checkbox"/> 事前に技の習得に必要な感覚トレーニングを行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか
救急 ・ 体制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## ウ 水泳競技

### 【代表的な事故事例】

- ・ プールサイドで滑り転倒し、捻挫、打撲、擦過傷を負う
- ・ 水泳中、他の選手にぶつかり、打撲、擦過傷を負う
- ・ 水泳中、過呼吸や痙攣を起こし、溺れかける
- ・ スタートの飛び込みでプールの底や他の泳者にぶつかり、頸椎損傷、打撲を負う

施設 ・ 設備 ・ 用具	<input type="checkbox"/> プールサイドの地面は破損していないか <input type="checkbox"/> プールサイドは滑りやすくなっていないか <input type="checkbox"/> コースロープの破損・ゆるみはないか <input type="checkbox"/> 常に殺菌を忘れず、適切な水質基準を保っているか <input type="checkbox"/> プールサイドに不必要な物は置かれていないか <input type="checkbox"/> 排水口の蓋のネジは破損していないか <input type="checkbox"/> プール内に異物が落ちていないか
活動 ・ 動	<input type="checkbox"/> 気温や水温は水泳に適しているか <input type="checkbox"/> 前後の選手と距離を取って泳いでいるか <input type="checkbox"/> 背泳ぎの時は、壁にぶつからないように声をかけたりしているか <input type="checkbox"/> 自分の技能とかけ離れた練習をしていないか <input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか
救急 ・ 体制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## エ バスケットボール

### 【代表的な事故事例】

- ・ 身体接触プレーによる転倒で捻挫、打撲、場合によっては骨折
- ・ 急激な方向転換やジャンプ・ストップによる足首や膝関節の靭帯損傷
- ・ ボールキャッチの際の突き指、手指の脱臼
- ・ オーバーユースが原因で起こるシンスプリント、疲労骨折、腰痛など
- ・ 不意の身体接触による頭部や顔面の打撲

施設備用具	<input type="checkbox"/> コートに極端な凹凸はないか <input type="checkbox"/> 滑りやすい床になっていないか <input type="checkbox"/> バックボードはしっかりと固定されているか <input type="checkbox"/> リング・ゴールネットは点検されているか <input type="checkbox"/> コートの周りに障害物はないか <input type="checkbox"/> プレイに適している服装か、装身具(ネックレス・金具)はないか <input type="checkbox"/> 爪がのびていないか <input type="checkbox"/> シューズに異常がないか、
活動	<input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 無理なプレイ(ディフェンスが遅れてはいるなど)をしていないか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか <input type="checkbox"/> ルールを理解してプレイしているか <input type="checkbox"/> 必要に応じて、怪我防止のバンテージ等施しているか
救急体制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## オ バレーボール

### 【代表的な事故事例】

- ・ 着地時に流れたり、捻ったりして膝や足首を捻挫する
- ・ パス、トスの際に親指の突き指を起こす
- ・ ブロッキング時にタイミングがずれて指の脱臼や骨折をする
- ・ スライディングレシーブなどで、膝を床に強打して打撲、擦過傷を起こす
- ・ ネットを外す際に、クランクに指を挟んだり巻き込まれて、指を損傷する

施設備用	<input type="checkbox"/> 競技や練習に十分に広さと明るさが整っているか <input type="checkbox"/> 床面が木製か合成ゴムのなめらかな表面であるか <input type="checkbox"/> コートの周りに障害物はないか <input type="checkbox"/> 支柱に異常はないか、ハンドルは抜いてあるか <input type="checkbox"/> ネットの装着や取り外しの際、慎重に行っているか <input type="checkbox"/> 支柱カバーや審判台に破損はないか <input type="checkbox"/> アンテナの固定が確実になされているか <input type="checkbox"/> ボールの空気圧は調整されているか
活動	<input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> ボールがコートに散乱していないか <input type="checkbox"/> コート内のボールを拾うときは、周りの状況を十分確認しているか <input type="checkbox"/> 汗などで床が濡れていないか、見つけたらすぐに拭いているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか
救急体制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## カ 卓球

### 【代表的な事故事例】

- ・打球困難なボールを打球しようとして足首などを捻挫する
- ・長時間の練習により手首や肘の腱鞘炎を起こす
- ・台の準備や後片付けで、卓球台が転倒して負傷する

施設 ・ 設 備 ・ 用 具	<input type="checkbox"/> 卓球台のキャスターは正常に作動しているか <input type="checkbox"/> 卓球台の開閉は必ず2人組で行っているか <input type="checkbox"/> 汗などで床が濡れていないか、見つけたらすぐに拭いているか <input type="checkbox"/> コートの周りに障害物はないか <input type="checkbox"/> 床にボールが散乱していないか <input type="checkbox"/> 卓球台の間隔は適切であるか
活 動	<input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> ボールがコートに散乱していないか <input type="checkbox"/> 隣の台でプレーしている選手と台の間隔が適度に開いているか <input type="checkbox"/> 多球練習が過度になりすぎているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休憩時間を設けているか
救 急 体 制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## キ テニス・ソフトテニス

### 【代表的な事故事例】

- ・ ラインテープが浮いており、練習中に足が引っかかり転倒し捻挫する
- ・ グランドストロークをストレート3コースで練習中、回り込んで打ったセンターコースの選手のラケットが横の選手の顔面にあたり、眼球を損傷した
- ・ ジャンピングスマッシュを練習中、ボールの上に着地して転倒、捻挫をする
- ・ 重く、ガットのテンションの高いラケットを使用し、肘や肩を痛める

施設備 用 具	<input type="checkbox"/> 〈クレートコート〉 ラインテープや釘が浮き上がっていないか <input type="checkbox"/> 〈ハードコート〉 砂や水で滑りやすすくないか、亀裂は入っていないか <input type="checkbox"/> 〈オムニコート〉 砂が均等に広がっているか、砂が不足していないか <input type="checkbox"/> ネットワイヤーにささくれや破損はないか <input type="checkbox"/> 支柱に破損はないか、ハンドルは取り外したか <input type="checkbox"/> ローラーに破損はないか <input type="checkbox"/> コートサーフェイスに合ったシューズを使用しているか <input type="checkbox"/> 体力や技能に応じたラケットの重さや、ガットテンションにしているか
活 動	<input type="checkbox"/> まわりの選手と距離をとってスイングしているか <input type="checkbox"/> ストローク練習で回り込む時やサウスポー選手の時に、ラケットが横の選手にあたらないようにお互い注意しているか <input type="checkbox"/> コート内のボールを拾う時は、まわりの状況を十分確認しているか <input type="checkbox"/> ボールがコートに散乱していないか <input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか
救 急 体 制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## ク バドミントン

### 【代表的な事故事例】

- ・ 手首など過度のトレーニングや足の疲労による腱鞘炎、シンスプリント
- ・ ゲーム中、急な方向転換による足首の捻挫や膝の靭帯損傷
- ・ ダブルスのゲーム中、前衛と後衛が重なりラケットでパートナーを打ち打撲
- ・ ネット前の攻防で、相手の打ったシャトルが顔面にあたり、眼球を負傷
- ・ 夏季に締め切った体育館内での活動における、脱水症状や熱中症

施設 ・ 設備 ・ 用具	<input type="checkbox"/> エンドライン後方の防球ネットがたるんで、溜まっていないか <input type="checkbox"/> 支柱の金具類が痛んでいないか <input type="checkbox"/> シューズが古く傷んでいないか <input type="checkbox"/> 汗などで床が濡れていないか、見つけたらすぐに拭いているか <input type="checkbox"/> コートの周りに障害物はないか <input type="checkbox"/> 床にシャトルが散乱していないか <input type="checkbox"/> ラケットに傷や割れなどの破損はないか
活            動	<input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか <input type="checkbox"/> 素振り時など、まわりの選手と安全な距離をとってスイングしているか <input type="checkbox"/> フットワークについて、ストップ時つま先が真っ直ぐか外に向くように注意して実施させているか <input type="checkbox"/> 前衛はシャトルを抜かれても振り返らないように指導しているか <input type="checkbox"/> ダブルスではお互いの衝突や、ラケットでパートナーを叩いてしまうことを避けるために、声を掛け合うことやローテーションの確認をさせる <input type="checkbox"/> コート内にシャトルが散乱したまま、活動を続けていないか
救 急 体 制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか



## ケ ソフトボール

### 【代表的な事故事例】

- ・ 試合中、打者がスイングした際、バットが捕手の頭部に当たり打撲を負う
- ・ 打者走者が、ベースを駆け抜ける時に踏みそこね、足首を捻挫した
- ・ フライを取りに行った内野手が取り損ね、眼球を負傷した
- ・ 盗塁の際に相手野手の足にスパイクがあたり、足に裂傷を負う
- ・ 準備運動不足や過度の疲労により、ふくらはぎの肉離れを起こす

施設 設備	<input type="checkbox"/> グラウンドに石や大きな凹凸はないか <input type="checkbox"/> ベースはしっかりと固定されているか <input type="checkbox"/> 十分な広さ・明るさを確保して、安全に気を付けて活動させているか <input type="checkbox"/> 防球ネットの破損や支柱の腐食はないか <input type="checkbox"/> ダッグアウトの破損、選手との衝突、ボールの飛び込みに対応しているか <input type="checkbox"/> バット・ヘルメットに認定マークはついているか <input type="checkbox"/> ボールやバット、プロテクターは変形していないか
活動	<input type="checkbox"/> まわりの選手と距離をとって活動させているか <input type="checkbox"/> マシンを使用する時、防御ネットを使用し、きちんと固定しているか <input type="checkbox"/> 過激なスライディングを抑制する指導をしているか <input type="checkbox"/> 選手同士の接触予防として、まわりからの声や指示をしているか <input type="checkbox"/> 過度の投球・守備練習をさせていないか <input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休憩時間を設けているか
救急 体制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## コ ハンドボール

### 【代表的な事故事例】

- ・ 相手のシュートカットの際に、顔面にボールが当たり眼球を負傷した
- ・ ゴールキーパーがシュートを受けた際、指に強くあたり手指を骨折した
- ・ シュート体制に入ったところをディフェンスプレイヤーと接触、バランスを崩し腰から落ち、脊椎分離症となった

施設 ・ 設備 ・ 用具	<input type="checkbox"/> ワックスやほこり、汗や飲み物によって床が滑りやすいか <input type="checkbox"/> ベンチや得点板の設置固定は安全が確保されているか <input type="checkbox"/> 隣のコートとの距離は十分確保できているか <input type="checkbox"/> ゴールポストはウエイト等で固定されているか <input type="checkbox"/> 装身具(ネックレス・ピアス・ヘアピンなど)はつけていないか <input type="checkbox"/> 爪の長さは適切か <input type="checkbox"/> ボールの空気圧は適性で、亀裂などはないか
活動 ・ 動	<input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか <input type="checkbox"/> ボールがコート内に散乱していないか <input type="checkbox"/> ゲームマナー、危険なディフェンスについて正しく理解されているか <input type="checkbox"/> 衝突が避けられるような技術を習得しているか <input type="checkbox"/> 顔面などへのシュートを回避できる技術を習得しているか <input type="checkbox"/> 複数力所からのシュート練習の方法は適切か
救急 ・ 体制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## サ サッカー

### 【代表的な事故事例】

- ・ 身体接触によるもの  
膝関節、足首、前腕、鎖骨、手首の骨折や捻挫、頭部、頸部の損傷
- ・ ボールの予想外の動きによるもの  
眼球損傷や捻挫、骨折
- ・ 炎天下の練習によるもの  
熱中症
- ・ ゴールポストの転倒によるもの  
頭部損傷、内臓損傷、各部位の骨折

施設 ・ 設備 ・ 用具	<input type="checkbox"/> グラウンドの石は除かれ、凹凸なく整備されているか <input type="checkbox"/> サッカーゴールは固定されており、腐食などはないか <input type="checkbox"/> 脛あてをつけストッキングをあげているか <input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか <input type="checkbox"/> 装身具(ネックレス・ピアス・ヘアピンなど)はつけていないか <input type="checkbox"/> スパイクのスタッドは鋭利に尖っていないか <input type="checkbox"/> キーパーは、長袖シャツ、サポーターなどを必要に応じて使用しているか
活    動	<input type="checkbox"/> スライディングやヘディングでの競り合いなど、危険が伴うプレーに対して技術指導や練習方法など安全に配慮しているか <input type="checkbox"/> キーパートレーニングに関して、安全に配慮しているか <input type="checkbox"/> ルールを理解させ、危険なチャージなど指導されているか <input type="checkbox"/> 十分な広さや明るさが確保できているか <input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか
救 急 体 制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## シ 相撲

### 【代表的な事故事例】

- ・ 投げられることによって起こる打撲、捻挫、脱臼、骨折
- ・ ぶつかり稽古や試合での頭部打撲、頸椎損傷
- ・ 長時間の高温多湿下での練習や試合によって起こる熱中症

施設 ・ 設備 ・ 用具	<input type="checkbox"/> 土俵上に砂が均等に広がっているか <input type="checkbox"/> 土俵上に土塊がのっていないか <input type="checkbox"/> 土俵上の砂にガラス片などの不純物が混ざっていないか <input type="checkbox"/> まわしが緩んでいないか <input type="checkbox"/> サポーターやさらしを巻く際にしっかりとつけられているか
活      動	<input type="checkbox"/> 互いに相手を尊重し、勝敗に対して公正な態度をとっているか <input type="checkbox"/> 四股を踏む際に隣の人との間隔を十分にあげているか <input type="checkbox"/> 投げられた際に受け身をとっているか <input type="checkbox"/> 立ち会いの際に顎を引いているか <input type="checkbox"/> 土俵下には十分な広さが確保されているか <input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか
救 急 体 制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## ス 柔道

### 【代表的な事故事例】

- ・ 投げられる事による打撲、骨折や脱臼
- ・ 畳がずれる、畳間に足指が入ることによって起こる捻挫や骨折
- ・ 受け身の失敗による頭部打撲や頸椎損傷
- ・ 長時間の高温多湿下での練習や試合によって起こる熱中症

施設 ・ 設備 ・ 用具	<input type="checkbox"/> 畳は隙間なく敷かれているか <input type="checkbox"/> 畳が滑らないように固定具などを使用しているか <input type="checkbox"/> 畳の表面が破損している場合は、テープなどで補修してあるか <input type="checkbox"/> 柔道着は体に合ったものを使用し、袖や裾を折り曲げていないか <input type="checkbox"/> 柔道着が破れていないか
活          動	<input type="checkbox"/> 手足の爪が伸びていないか <input type="checkbox"/> 投げ技では取り側は引き手を引き上げ、受け側は受け身を取っているか <input type="checkbox"/> 無理に姿勢(膝や頭をつくなど)で技をかけていないか <input type="checkbox"/> 崩れた姿勢から無理矢理投げていないか <input type="checkbox"/> 危険な返し技や捨て身技をしていないか <input type="checkbox"/> 投げられる際、手、肘、膝をついて無理に抵抗していないか <input type="checkbox"/> 押さえ込みの姿勢で頸椎を圧迫していないか <input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか <input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか
救 急 体 制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## セ 剣道

### 【代表的な事故事例】

- ・ 素足で稽古を行うため、基本稽古中に足の裏にまめができたり、皮が剥げる
- ・ 連続打突やかかり稽古中、振り向いて次の打突に移行した瞬間にアキレス腱断裂
- ・ 打突後体当たりを行った際に、後方に飛ばされ、後頭部を負傷
- ・ 引き技の稽古中に体勢を崩して転倒し、足首を捻挫する
- ・ 打突の際、踏み込み足で行うため、右足踵部の炎症を起こす
- ・ 特殊な姿勢で稽古や試合をするため、腰痛、肘や足首の炎症をおこす

施設	<input type="checkbox"/> 床に亀裂はないか
・	<input type="checkbox"/> 他競技の支柱用の蓋は閉じているか
施設	<input type="checkbox"/> 床に異物は落ちていないか
備	<input type="checkbox"/> 竹刀の歪みやささくれはないか
・	<input type="checkbox"/> 先皮の破れ、中結の位置、弦の緩みは確認したか
用	<input type="checkbox"/> 面紐、胴紐、小手紐は切れていないか
具	<input type="checkbox"/> 防具に破損したところはないか、保管状況は適切か
	<input type="checkbox"/> 防具、剣道着、袴は体格にあっているか、破れてはいないか
	<input type="checkbox"/> 体力や技能にあった竹刀の重さにしているか
活	<input type="checkbox"/> まわりの選手との距離を取って竹刀を振っているか
	<input type="checkbox"/> 基本を離れ、無理な打突をしていないか
	<input type="checkbox"/> 無理な姿勢で稽古をしていないか
	<input type="checkbox"/> 選手同士が接触しそうになった時、大きな声で知らせているか
動	<input type="checkbox"/> ウォーミングアップ・クールダウンをきちんと行っているか
	<input type="checkbox"/> 練習の中で適切な休息時間を設けているか
救	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか
急	<input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか
体	<input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか
制	<input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

## ソ 弓道

### 【代表的な事故事例】

- ・ 亀裂の入った矢を射放った瞬間、矢が折れて身体を傷つけた
- ・ 他人の短い矢話をつかい、引き込んで矢が折れて怪我をした
- ・ 双方の確認が不十分で、矢取りの生徒に矢があたってしまった。
- ・ 技能の未熟により、矢が仮設安土上の防矢ネットを飛び越え、通行人にあたった
- ・ 巻藁練習中、矢が跳ね返って顔や目にあたった
- ・ 矢を放った時、弦が耳、眼鏡、腕などにあたって怪我をした
- ・ ゴム矢を引いていたら、押し手が滑り、握り手が手元に跳ね返り顔にあたった

施設 設備 用具	<input type="checkbox"/> 道場内が整理整頓されているか <input type="checkbox"/> 古く穴の開いた巻藁を使用していないか <input type="checkbox"/> 適正な高さの巻藁台を使用しているか <input type="checkbox"/> 安土の上と左右に防矢ネットが設置されているか <input type="checkbox"/> 安土の砂が崩れないように、毎回安土直しをしているか <input type="checkbox"/> 矢止めの畳が倒れないように、処理されているか(仮設の場合) <input type="checkbox"/> 傷ついた矢(穴、ひび、羽のすり減り)や曲がったものを使用していないか <input type="checkbox"/> 自分の筋力や矢尺にあった矢をしようしているか <input type="checkbox"/> 弓の摺籐に穴があいたり、切れたりしていないか <input type="checkbox"/> 弦の張りの高さ、弦輪の大きさ、中掛けの太さは適切か
活動 動	<input type="checkbox"/> 弓を引く際、「打ち起こし - 大三 - 引き分け」の過程で、矢が常に床と身体に平行に運行されているか <input type="checkbox"/> 大きな髪止めなど、弦で払うおそれのあるものを身につけていないか <input type="checkbox"/> 並んで行射する際、前後の人との間隔を十分とっているか <input type="checkbox"/> 矢取りの際、行射し終わった者とお互いに声を掛け合って、安全確認を行っているか <input type="checkbox"/> 初心者だけで練習させず、必ず指導できる者が立ち会っているか <input type="checkbox"/> 初心者を射場の一番前や一番後ろに立たせないなど、立ち位置の配慮
救急 体制	<input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制は整備されているか <input type="checkbox"/> 医薬品などの準備はできているか <input type="checkbox"/> RICE処置やテーピングなどの応急処置について、理解しているか <input type="checkbox"/> 当番医の確認や医療機関への連絡体制は整っているか

- ② 会場の過去の災害や被災の危険度について確認しておく。
- ③ 気象情報や交通情報の収集方法を確認しておくとともに、平素から、最寄りの駅や関係機関等と十分連携をとり、災害発生時に迅速に情報を得られるようにしておく。
- ④ 日頃から、安全点検の実施計画（チェックリストを含む）を作成し、施設・設備の全般について災害に備えて、定期点検を行う。
- ⑤ 書類、電気機器、薬品等の危険物等を安全な場所に移動する方法を定めておく。
- ⑥ 地域の実態に即し、風水害の発生に伴う具体的な防災計画を作成する。また、会場が避難所となった場合の対応も、所在市町の防災担当部所と協議しておく。

#### 【関係法令等】

- ・ 国家賠償法第2条 ・ 消防法第8条（防火管理者） ・ 学校保健法第2条、第3条
  - ・ 災害対策基本法第46条（災害予防及びその実施責任）、第47条（防災に関する組織の整備義務）、第48条（防災訓練義務） ・ 山口県地域防災計画
  - ・ 学校安全推進の手引き（山口県教育委員会）
- <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/gakkouannzen.html>
- ・ 山口県地震防災戦略

#### 4 生徒・教員(競技役員)・引率者の安全確保を速やかに行う

##### 【地震に対する初期対応】

- ① 緊急地震速報が発表された時は、揺れが到達するまでの間に、生徒等に対して危険な場所から離れ身の安全を守るよう呼びかけるとともに、自身も身の安全を確保する。また、突然揺れに襲われた時も、可能な対応行動をとる。
- ② 室内で競技中の場合は、生徒を机の下等に潜らせ、机の脚をしっかりと持たせる。
- ③ 身を隠すところがない場合は、座布団や手近にあるカバンなどで頭を覆い、できるだけ低い姿勢をとらせるなど、場所や状況に応じた適切な行動をとらせる。
- ④ 火気使用中の場合は、身の安全を確保した上で、火災発生の防止に努める。揺れがおさまったら、ガスの元栓を閉め、電気器具等のコンセントを抜く。
- ⑤ 恐怖と不安で生徒がパニック状態になっているので、教職員は、生徒が落ち着いて行動できるよう具体的な指示をする。
- ⑥ ドアや窓、会場の入り口を開け、脱出口を1カ所以上確保する。
- ⑦ 激しい揺れは、1～2分程度で収まるので、落ち着いて行動する。

##### 【地震の際の避難】

- ① 場内放送、ハンドマイク等で全員に避難を指示する。
- ② 火災が発生した場合、出火場所を周知し、迂回するよう指示する。



- ③ 各役員は、生徒に対して、適切な避難経路を指示したうえで先導する。（先頭や最後尾に役員がつくように工夫する。）
- ④ 負傷者の有無を確認し、応急処置を行う。
- ⑤ 頭を覆い、上履きのまま、避難場所へ行く。
- ⑥ 煙が発生している場合は、ハンカチなどで鼻・口を覆い、避難する。
- ⑦ 海岸付近では、津波の恐れがあるため、できるだけ早く高台へ避難する。
- ⑧ 避難場所に集合後、人数確認をする。

#### 【避難後の帰宅】

- ① 生徒を帰宅させる場合には、余震や津波を考慮するとともに、事前に通路を点検したり地域の情報を収集したりするなどした上で、適切な時期に行う。また、帰宅時の注意事項について十分な指導を行い、安全確保の徹底を図る。なお、通路の安全が確認できるまで、会場に生徒を留まらせる。
- ② 帰宅時刻を変更する場合は、あらかじめ定めた方法で速やかに保護者と連絡をとる。また、通路の状況等により、必要と判断した場合は、保護者への引き渡しを行う。
- ③ 保護者が避難してきた場合は、原則として保護者への引き渡しを行う。

#### 【心のケア】

- ① ショックを受けている生徒に留意し、勇気づけるとともに安心させる。
- ② 心のケアを必要とする生徒に対しては、保護者並びに医師等と十分に連携を図り対応する。また、PTSD（外傷後ストレス障害）になることも考えられるので、継続的な心のケアを行う。

#### 【関係法令等】

- ・ 国家賠償法第2条 ・ 消防法第8条（防火管理者） ・ 学校保健法第2条、第3条
  - ・ 災害対策基本法第46条（災害予防及びその実施責任）、第47条（防災に関する組織の整備義務）、第48条（防災訓練義務） ・ 山口県地域防災計画
  - ・ 学校安全推進の手引き（山口県教育委員会）
- <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/gakkouannzen.html>
- ・ 山口県地震防災戦略

#### 【集中豪雨の初期対応】

- ① テレビ、ラジオ、気象関係のホームページ等で、気象情報や河川情報、避難勧告の発令を確認する。
- ② 公共交通機関の状況をインターネット、電話、駅に出向くなどして確認する。

- ③ 会場周辺の冠水状況を常時監視する。
- ④ 建物内へ浸水の可能性がある場合は、速やかに生徒を高所、高台に避難させる。
- ⑤ 可能であれば、電気機器、薬品等の危険物などを安全な場所に移動する。
- ⑥ 風雨の状況により、生徒を会場に留まらせたり、保護者への引き渡しを行う。
- ⑦ 移動前で生徒が家庭にいる時は、大会中止、自宅待機の措置を講ずる。

#### 【集中豪雨の際の避難】

- ① 各役員は生徒に対して、適切な避難経路を指示したうえで先導する。(先頭や最後尾に役員がつくなど工夫する。)
- ② できるだけ早く高所、高台へ避難する。
- ③ 会場外へ避難する際は、排水溝や側溝などが冠水で分からない場合があるので、気をつける。
- ④ 風が強い場合は飛来物にも注意する。
- ⑤ 避難場所に集合後、人数確認をする。

#### 【避難後の帰宅】

- ① 生徒を帰宅させる場合には、風雨の状況を把握するとともに、事前に通路を点検したり、地域の情報を収集したりするなどした上で、適切な時期に行う。また、帰宅時の注意事項について十分な指導を行い、安全確保の徹底を図る。なお、通路の安全が確認できるまで、会場に生徒を留まらせる。
- ② 帰宅時刻を変更する場合は、あらかじめ定めた方法で速やかに保護者と連絡をとる。また、通学路の状況等により、必要と判断した場合には、保護者への引き渡しを行う。

#### 【関係法令等】

- ・ 国家賠償法第2条 ・ 消防法第8条（防火管理者） ・ 学校保健法第2条、第3条
- ・ 災害対策基本法第46条（災害予防及びその実施責任）、第47条（防災に関する組織の整備義務）、第48条（防災訓練義務） ・ 山口県地域防災計画
- ・ 学校安全推進の手引き（山口県教育委員会）

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/gakkouannzen.html>

- ・ 山口県地震防災戦略

## 第5節 災害等の報告

1 事後は速やかに県中体連・市町教育委員会・県教育委員会に事後報告を行い災害・事故の再発・拡大防止につとめる。

- ① 山口県教育委員会 速報・報告書様式  
・速報様式(市・町立学校用)

教育委員会・学校名		発 信 者	
発 信 日 時	平成 年 月 日 ( )	午前・午後	時 分

1 件 名					
2 被 害 者 (被 災 者)	学 校 名	学 年	性 別	氏 名	保 護 者 氏 名
		年	男・女		
(備考) 受診した病院名、傷病の程度等					
3 加 害 者	学 校 名	学 年	性 別	氏 名	保 護 者 氏 名
		年	男・女		
4 発 生 日 時					
5 発 生 場 所					
6 事 故 等 の 概 要					
7 学 校 ・ 教 育 委 員 会 の 措 置					
8 そ の 他	警 察 へ の 被 害 届	有・無			
	報 道 発 表 ・ 取 材	有・無			
	特 記 事 項				

教育庁学校安全・体育課 山口県学校安全管理室

学校安全班 TEL：083-933-4673 児童生徒支援班 TEL：083-933-4680

FAX：083-922-8737

平成〇〇年(〇〇年)〇月〇日

〇〇市(町)立〇〇学校  
校長 〇〇〇〇

印

学 校 事 件 ・ 事 故 報 告 書

- 1 件名
- 2 (被害・被災者) 学年・氏名(性別)・保護者氏名
- 3 (加害者)
- 4 発生日時
- 5 発生場所
- 6 概要(できるだけ箇条書きが望ましい)
- 7 被災・傷病の程度
- 8 学校が行った指導措置及び今後の対策等
- 9 関係機関が行った指導措置等
- 10 その他の参考事項  
(本人について特記すべき事項、保護者の意見、事故の場合は現場の略図等)

② 山口県中体連様式

FAX送信表 山口県中学校体育連盟行 FAX083-902-7007

## 第 回 山口県中学校体育大会の反省

総務・支理事長・専委員 (〇で印して下さい) 氏名( )  
支部・専部名〔 〕

- 1 開会式について
- 2 宿泊について
- 3 大会会場について
- 4 大会運営について
- 5 準備関係について
- 6 選手、引率者、監督、保護者のマナーについて
- 7 その他

※ 各専門委員の方は、会場、運営、競技上のことを具体的に書いて下さい。

山口県中学校体育連盟 県体救護日誌

大会名	第 回 山口県中学校体育大会 (秋季県体)		
期 日	平成 年 月 日 ( ) ~ 平成 年 月 日 ( )		
目 目			
会 場			
救護担当者氏名		所 属	
<p>日 誌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救護状況</li>            <li>・申し送り事項</li>            <li>・気付き</li>            <li>・備 考</li> </ul> <p style="text-align: right;">※ 大変お疲れさまでした</p>			

## 第6節 連絡網の整備

- 1 平成22年度全国中学校体育大会前に配布の「医療・救護等要項」を参照され、速やかに報告・連絡・相談等が行われるように心がける。同時に、事後の対応が滞りなく行われているか「事後対応に関するチェックリスト」を参考に確認する。

### 事後対応に関するチェックリスト

#### 〔災害や事故の概要〕

- ① 負傷生徒等 所属 学年 氏名
- ② 種目・会場 種目 会場
- ③ 発生日時
- ④ 負傷等程度
- ⑤ 発生の状況

#### 〔保護者に対して〕

- 保護者には謝意を伝えたか
- 災害・事故の発生状況を的確に伝えたか
- 日本スポーツ振興センター災害給付金について説明したか
- 欠席に関する取扱について、相談の上説明したか
- 入院先・期間を確認したか（退院予定日 月 日（ ））
- 病院への見舞いや家庭訪問は済ませたか

#### 〔学校管理者に対して〕

- 災害・事故報告をしたか
- 後に経過報告をしたか

#### 〔その他〕

- 再発防止策について検討しているか
- 生活面や学習面でのサポートはしているか
- 日本スポーツ振興センター災害給付金の手続きは済ませたか

- 2 大会運営にかかる連絡の徹底にむけて、①中学校体育連盟各専門部連絡網 ②監督・役員連絡網 ③各学校連絡網 ④各部活動連絡網 の整備を行い、メール配信システムの構築・緊急連絡先の把握などに努める。また、屋外の会場からも速やかに情報発信ができるように、無線LANを使用してパソコンからのメール配信や携帯電話からの配信がスムーズに行える体制を整えておく。

## 第7節 役員・選手への防災教育

### 1 役員・選手等に対する防災教育

自主的な防災活動は、組織的に行動することがより効果的であり、自主防災組織の結成及び活動が重要となる。

このため、自主防災組織の結成を積極的に促進し、災害時要援護者への支援やその育成強化を図る。

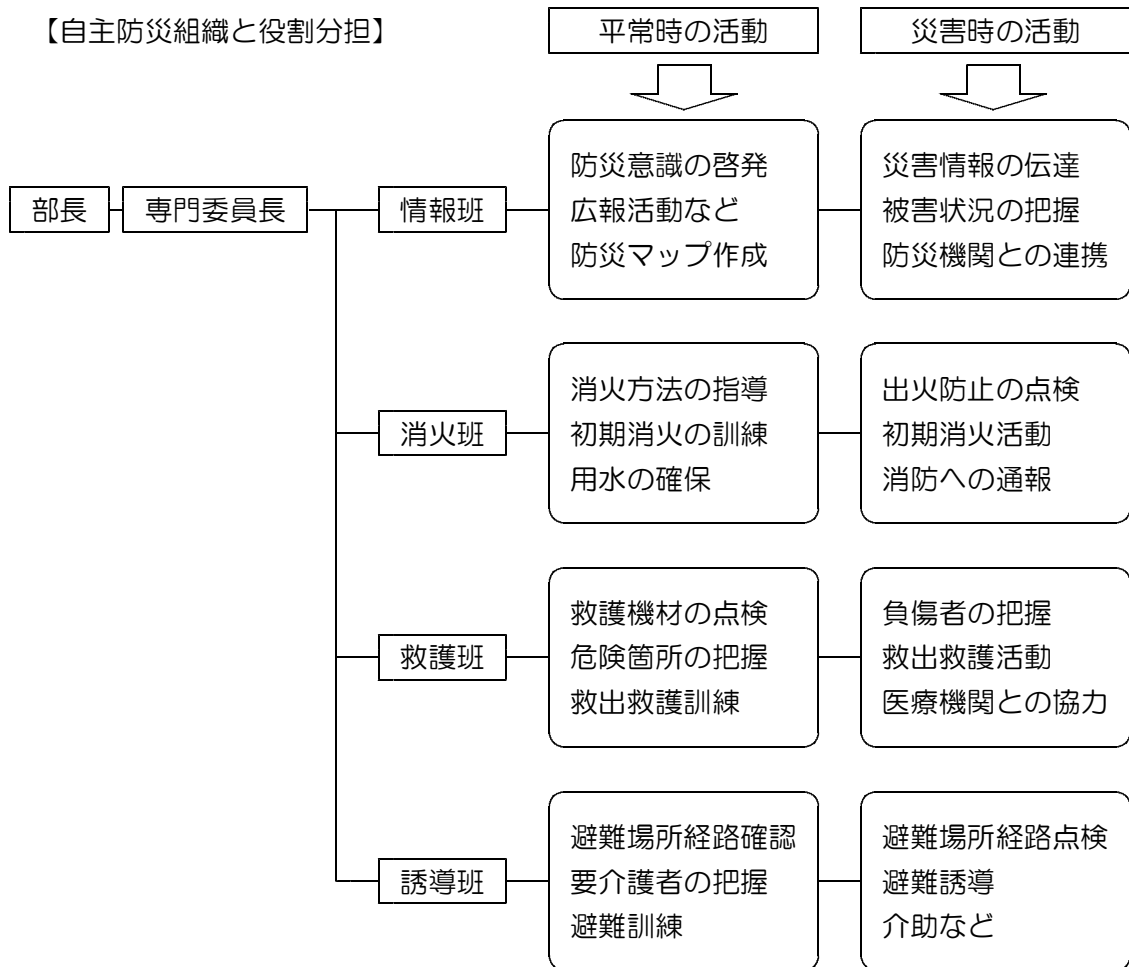
- (1) 気象災害に関する基礎知識
- (2) 災害の種別と特性
- (3) 県地域防災計画と防災対策に関する知識
- (4) 災害が発生した場合に、具体的にとるべき行動に関する知識
- (5) 役員として果たすべき役割(役員の動員体制と任務分担)
- (6) 家庭及び地域における防災対策
- (7) 自主防災組織の育成強化対策
- (8) 防災対策の課題とその他必要な事項

### 2 自主防災組織の確立と育成

- (1) 自主防災組織のリーダー養成に向けて研修会等を行い、人材の育成に努める
- (2) 自主防災組織が、災害時に最も効果的に活動するためには、誰が何を受け持つかをしっかりと決めて、お互いの役割や関係を体系づけておく



(3) 自主防災組織の編成については、一般的に次のような編成が考えられる



### 3 自主防災組織の果たすべき役割

自主防災組織は、関係諸機関と連携し、「自分たちの安全は自分たちで守る」という精神のもとに、災害発生時に備えて次のような活動を行うことが望ましい。

- (1) 防災知識の普及
- (2) 「自主防災マップ」の作成
- (3) 「自主防災組織の防災計画」の作成
- (4) 防災訓練の実施
- (5) 情報の収集・伝達体制の整備

## 第8節 自然環境に対する留意点（熱中症の予防について）

熱中症とは、暑い環境で発生する障害の総称である。熱中症の発生には、気温・湿度・風速・輻射熱（直射日光など）が関係しているため、同じ気温でも湿度が高いと危険性が高くなり、また、運動強度が強いほど熱の発生も多くなり、熱中症の危険性も高まる。

これまで日中の最高気温が30℃を超える日を真夏日と称していたが、最近では35℃以上の日を猛暑日と呼ぶようになり、夏季は熱帯夜が続くことも多くなった。熱中症は予防できるものであるため、指導者は生徒の心身の体調や疲労の度合いに十分な注意が必要である。

### 1 【熱中症の病型と症状】 スポーツで問題となるのは、主に熱疲労と熱射病である。

熱失神	皮膚血管の拡張によって血圧が低下し、脳血流が減少して起こるもので、めまい、失神などがみられる。顔面蒼白となって、脈は速く、弱くなる。  熱疲労 脱水による症状で、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などがみられる。
熱けいれん	大量に汗をかいたときに水だけしか補給しなかったため、血液の塩分濃度が低下して、足、腕、腹部の筋肉に痛みを伴ったけいれんが起こる。
熱射病	体温の上昇によって中枢機能に異常を来した状態。意識障害（反応が鈍い、言動がおかしい、意識がない）が起こり、死亡率が高い。

暑い場所で無理に運動しても効果は上がることはなく、環境条件に応じた運動・休憩・水分補給の計画が必要である。熱中症予防に関しては、いずれの運動やスポーツにおいても、気候、休憩と水分補給、運動量と時間及び衣服による体温調節や熱中症が疑われた時の処置方法など、既に多くの安全対策が講じられている。夏季の運動部活動においては、運動の特性や生徒の健康管理を踏まえた熱中症対策を重点的に行うことが大切である。

【熱中症予防のための指標・WBGT（湿球黒球温度）】

WBGT（湿球黒球温度）とは、人体の熱収支に影響の大きい気温、湿度、輻射熱の3つを取り入れた指標で、乾球温度、湿球温度、黒球温度の値を使って計算します。

GBT (°C)	湿球温 (°C)	乾球温 (°C)	運動は 原則中止	WBGT31°C以上では、皮膚温度より気温の方が高くなり、身体から熱を逃すことができない。
31	27	35	-----	-----
			嚴重警戒	熱中症の危険が高いため、激しい運動や持久走は避ける。体力の低い者、暑さになれていない者は運動中止。運動する場合は積極的に休息をとる。
28	24	31	-----	-----
			警 戒	熱中症の危険が増すため、積極的に休息をとり、水分を補給する。激しい運動では30分おきに休息
25	21	28	-----	-----
			注 意	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意しながら、運動の合間には積極的に水分を補給する
21	18	24	-----	-----
			ほぼ安全	通常は熱中症の危険は少ないが、水分の補給は必要 マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意をする

※ WBGT（湿球黒球温度）の算出方法

屋外：WBGT = 0.7×湿球温度 + 0.2×黒球温度 + 0.1×乾球温度

屋内：WBGT = 0.7×湿球温度 + 0.3×黒球温度

※ 環境条件の評価はWBGTが望ましい。

※ 湿球温度は気温が高いと過小評価される場合もあり、湿球温度を用いる場合は乾球温度も参考にする。

※ 乾球温度を用いる場合は、湿度に注意。湿度が高ければ、1ランクきびしい環境条件への注意が必要。

出典：財団法人日本体育協会「熱中症を防ごう」

<http://www.japan-sports.or.jp/medicine/guidebook.html>

## 第9節 心のケア（PTSD・恐怖症・不安症などへの対応）

### 1 PTSDとは

PTSD というのは、Post-traumatic Stress Disorder の略称である。PTSD では、幼児 期虐待、自然災害、交通事故、犯罪被害、暴力被害などのトラウマ体験の後に、トラウマに関連する特徴的な症状（再体験、回避、麻痺、覚醒亢進、解離など）がみられる。

### 2 恐怖症・不安症とは

恐怖症と不安症は似ているようにおもわれがちですが、以下のように分類される。

- ① 不安症とは、これから何か嫌なこと恐ろしい事が起こるかも知れないと「悪い未来」を予想して怖がる事を言う。幸福なのが怖いという人は、幸福は無条件には与えられず、代償を払う必要があると思いつけている。そのため、強い幸福感があるほど、高い代償を払わなければならないと感じ、とてつもなく悪いこと、恐ろしいことが起こるのではないかと予測するのである。不安症の人の多くは、幅広い事柄をいつも心配しており、未来全体に対して自分は幸せになれない、嫌な事が起こると思いつけている傾向がある。
- ② 恐怖症とは、何か特定のものに対して一般の人より強い恐怖を感じ、自分はそれに耐えられないと感じる事で、反応が起こるのは「今現在の事象」である。高所恐怖症、虫恐怖症、たばこ恐怖症、先端恐怖症、閉所恐怖症など様々なものを刺激源として反応する。一つの恐怖症を抱えている人は他のものにも反応するようになりやすい傾向がある。

いずれも、怖いという感情の処理に問題があり、多くは幼いころに感じた怖い感情を押さえて未処理のままにしている事が原因である。また、幼い頃に嬉しがったり喜んだりするたびにそのことを咎められるなどの不適切なメッセージを受けて、幸福を享受してはならないと思いつけている場合も少なくない。

恐怖症の多くが、怒りを抑圧して、怒りの代理に恐れ（恐怖）を使っている。未処理の感情を処理する事で驚くほど改善・完治する症例である。

放置すると強迫性障害、強迫神経症、境界性人格障害、統合障害などの精神病に進行する事がある。

### 3 治療にあたって

PTSD・恐怖症・不安症の治療には催眠療法・行動療法・精神生理学的療法・自己暗示療法などの心理療法と抗精神病薬・ベンゾジアゼピン系薬・交換神経抑制薬・TCA（三環系抗うつ剤）などの投与や入院による治療があげられるこのほか、PTSDに対して芸術療法（絵画療法、音楽療法、箱庭療法、舞踏療法、心理劇、詩歌療法など）、動物療法などがなされている。効果を確かめるような対照試験は行われていないが、言語的表現が困難なPTSD患者や子供の患者には有効と思われる。

いずれも心理士・心理療法士の支援と専門的知識が必要となるため、必要に応じて関係機関や病院と連携して心のケアにあたる事が望ましい。

## 参考資料【災害等対策マニュアルの作成に向けてアンケート調査結果】

- 1 山口県中学校体育連盟調査研究部では災害等緊急対策マニュアルの作成に向けて、事前に各支部理事長・各種目専門委員長の協力を得て、以下のアンケートを行った。

---

### 自然災害などへの対応について アンケート調査

※ 各種目支部専門委員長用アンケート【回答】

#### 1 大会の運営について

##### (1) 実施・中止・延期の決定方法について

- ① あなたの所属する種目の大会実施・中止・延期は誰の立ち会いのもとで決定されていますか？
- ② 現在の決定(変更)の方法で何か不都合はありますか？  
ある ない ※ ○で囲む  
ある場合は具体的な内容をお書き下さい。

##### (2) テント類・看板・設備などの設置物について

- ① 自然災害に備えて、会場内設置物の固定や点検・確認についてどのようにされておられますか？
- ② 災害防止のために、会場への侵入規制や時間制約など、特別な措置を執られたことがありますか？  
はい いいえ ※ ○で囲む  
【はい】の場合は具体的な内容を記入してください。
- ③ 現在よく使われている会場で、設置物や設備についての危険箇所はありますか？  
ある ない ※ ○で囲む  
ある場合は具体的な危険箇所をお書き下さい。

##### (3) 生徒・役員・教員の避難誘導について

- ① 災害発生時、生徒・役員・教員の避難誘導について、どのように考えておられますか？
- ② 昨年度豪雨災害では、特別に避難指示を出されましたか？  
はい いいえ ※ ○で囲む  
【はい】の場合は具体的な指示の内容を記入してください。

##### (4) 情報の収集・掌握・告知の流れについて

- ① 災害や注意報・警報等の情報収集・把握はどのような手段で行っていますか？

② 大会の延期・中止・遅延などの告知(連絡)はどのような手段をとられていますか?

③ 現在の告知(連絡)の方法で、何か不都合はありますか?

ある ない ※ ○で囲む

ある場合は具体的な内容をお書き下さい。

(5) その他

① 災害等への対策がマニュアル化された場合、どのような内容(項目)を期待されますか?

② 大会の運営について問題視されている事柄がありますか?

ある ない ※ ○で囲む

ある場合は具体的な内容をお書き下さい。

2 選手輸送の問題について

① 大会参加時の選手輸送または移動方法に、問題はありませんか?

ある場合は具体的な内容をお書き下さい。

※ 同様のアンケートを各学校の中体連理事にも実施した。

## 2 アンケート結果

山口県内17支部からの回答を整理すると次のような内容であった。

【各学校理事からの回答】

### 1 部活動の運営について

#### (1) 実施・中止・延期の決定方法について

① 災害などにより活動を中止する場合、どのような方法で決められていますか?!

- 校長・教頭・生徒指導主任・場合によっては学年主任を交えて協議する。
- 校長・教頭・体育主任・部活動顧問で協議、決定は校長が行う。
- 基本的に部活動顧問が判断しているが、校長から指示が出ることもある。
- 理事会は校長会と連絡を取って決定。校内では全職員で協議する。

② 現在の決定方法で何か不都合はありますか?!

ある 1% ない99% ※ ある場合の具体的記述は無し。

#### (2) テント類・看板・設備などの設置物について

① 自然災害などに備えて、校内設置物の固定や点検はどのようにされていますか?!

- 定期的(毎月1回)の安全点検を実施。自然災害前後の臨時点検を実施。
- 台風等接近の恐れがあると判断した場合には、全教員で臨時点検をする。
- 市教育委員会依頼の業者による点検がある。
- 定期の安全点検に加えて、随時部活動顧問・保健体育部・生徒指導部の巡視。
- 荒天が予測される場合は、固定物の点検と屋内移動が可能なものは移動する。

- ② 疾病の感染防止のために、練習会場の規制や時間的な制約など、特別な処置を執られましたか?!

はい 78% いいえ 22% ※ はいの具体的記述は下記のとおり。

- 活動を中止し、速やかに下校させた。
- 活動時間の短縮・練習の打ち切り・登下校時間の調整等を行った。
- 緊急の場合にロープを張り、立入禁止区域を設けた。
- 消毒液を会場に設置するとともに、マスクの着用を勧めた。

- ③ 現在よく使われている施設で、設置物や施設についての危険箇所はありますか?!

ある 6.7% ない 93.3% ※ あるの具体的記述は下記のとおり。

- 防球ネット破れ・サッカーゴールの腐食・剥がれ落ちる壁

### (3) 生徒・教員の避難誘導について

- ① 災害発生時、生徒・教員の避難誘導についてどのように考えておられますか?!

- 避難訓練を利用して、役割分担の確認をしている。
- 年2回の防災訓練を実施、放送に従うように指示している。
- 生徒の安全確保を第一に考えて避難誘導する。安全対策マニュアルに基づく。
- 学校保健安全計画に従う。避難訓練に準じて臨機応変な対応をする。
- 校内緊急対応マニュアルを作成しているが、訓練は十分ではない。
- 安全確保を最優先する。必要に応じて外部の機関とも連携をとる。

- ② 昨年度の豪雨災害時には、特別に避難指示等を出されましたか?!

はい 11.5% いいえ 88.5% ※ はいの具体的記述は下記のとおり。

- 早期下校・部活動中止
- 部活動中止・登下校時間指示

#### (4) 情報の収集・掌握・告知の流れについて

① 災害や緊急事態の情報収集・把握はどのような手段で行っておられますか?!

- インターネット、TV、ラジオ、市教育委員会メールなど。
- 市教育委員会メール・山口市防災メール・地域の広域無線など。
- 気象庁のHP、近隣学校の措置の把握、地域交流センターとの連絡など。

② 活動の延期・中止・遅延などの告知(連絡)はどのようにされていますか?!

- 有線放送、部活動連絡網、学校メール、ケーブルテレビなど。
- 全家庭へのメール配信をしている。
- 校内放送、各顧問からの連絡、学級・部活動連絡網、PTAのメール配信など。
- 授業日は口頭またはプリント配布、休日等は連絡網(電話・メール)による。

③ 現在の告知(連絡)の方法で何か不都合はありますか?!

はい 6.7% いいえ 93.3% ※ はいの具体的記述は下記のとおり。

- 全家庭に有線やメール環境があるわけではないので、不十分である。
- 電話が不通の場合や家庭に不在の場合の連絡徹底が難しい。

#### (5) その他

① 災害等への対策がマニュアル化された場合、どのような内容を期待されますか?!

- 効果的な情報収集の方法。
- 基準の明確化。
- 統一性と公平性。
- 指示、動き方、災害程度ごとの対策、避難するタイミングや方法など。
- 指示系統がはっきりされること、地域や学校の実情に応じた柔軟なマニュアルを求める。
- どの程度で避難させるかの見極め、対応についての判断が行いやすいマニュアルにしてほしい。
- 連絡方法、情報提供など、見やすく流れの分かりやすいものが望ましい。

② 部活動の運営について、問題視されている事柄がありますか?!

- 災害等発生を予測する時、活動中はよくても、帰宅まで考えて判断する難しさ。
- 練習試合や中体連以外の大会において、中止の判断基準が揃っていない。



## 2 選手輸送の問題について

### (1) 選手輸送または移動方法で問題はありませんか?!

- 保護者・教員が選手輸送を行った時、事故などが発生した場合の責任問題。
- 公共交通機関の便が悪く、保護者にも協力が得にくいため、教員の車で移動せざるを得ないが、安全面に不安が残る。
- 全て公共交通機関を利用すべき。しかし、不通になることもあり、移動が困難。

.....

【各支部専門委員長からの回答】

## 1 大会の運営について

### (1) 実施・中止・延期の決定方法について

① 災害などにより活動を中止する場合、どのような方法で決められていますか?!

- 会長・理事長・専門委員長で協議する。
- 部長(校長)・専門委員長・各学校顧問で協議する。
- 今までに中止・延期になったことはありません。
- 支部長・理事長・野球とソフトテニスの専門委員長で協議する。

② 現在の決定方法で何か不都合はありますか?!

ある 5.3% ない94.7% ※ ある場合の具体的記述は下記のとおり。

- 遠方から来た生徒は大会中止の場合、とんぼ返りすることになってしまう。
- 大会当日の朝に中止・延期などの決定が必要な場合、速やかに行えない。県体方式に準じているため、遠方の学校に負担がかかってしまう。

### (2) テント類・看板・設備などの設置物について

① 自然災害などに備えて、会場内設置物の固定点検はどのようにされていますか?!

- 大会前日に防球ネットやサッカーゴールの固定をしている。
- 放送で呼びかけて一斉点検の後、設置者に固定をお願いしている。
- 前日に施設管理者と打合せをし、大会当日の朝点検をしている。
- 室内競技なので特に実施はしていない。(剣道・柔道)
- 学校で会場をお借りしているので、毎月の安全点検で実施しておられる。

- ② 疾病の感染防止のために、練習会場の規制や時間的な制約など、特別な処置を執られましたか?!

はい 8.1% いいえ 91.9% ※ はいの具体的記述は下記のとおり。

- 大会を中止し、速やかに下校させた。
- 雨洪水警報発令時、会場周辺の天候があれど、待機の指示をした。
- 手・指のアルコール消毒、マスクの着用、開催時間の遅延を実施した。

- ③ 現在よく使われている施設で、設置物や施設についての危険箇所はありますか?!

ある 7.9% ない 92.1% ※ あるの具体的記述は下記のとおり。

- 防球ネット・サッカーゴールの腐食・球場の老朽化

### (3) 生徒・役員・教員の避難誘導について

- ① 災害発生時、生徒・教員の避難誘導についてどのように考えておられますか?!

- 素早い対応が必要。施設に避難経路図が設置してある。
- はっきりとしたマニュアルがないので、困っている。
- 状況に応じて、冷静な判断のもと、迅速かつ適切な対応に努める。
- 速やかに室内等安全な場所に誘導し、各校顧問で役割分担を行う。
- 選手の安全を優先しつつ全員が避難できるように努める。

- ② 昨年度の豪雨災害時には、特別に避難指示等を出されましたか?!

はい 2.6% いいえ 97.4% ※ はいの具体的記述は下記のとおり。

- 自宅待機の指示を出し、天候を見て確実に実施できる日程に変更した。
- 試合の中止を指示した。

### (4) 情報の収集・掌握・告知の流れについて

- ① 災害や緊急事態の情報収集・把握はどのような手段で行っておられますか?!

- インターネット、TV、ラジオ、市教育委員会メールなど。
- 携帯電話で天気予報や警報・注意報を確認している。
- 気象庁のHP、観測所へ電話で確認するなど。

② 大会の延期・中止・遅延などの告知(連絡)はどのようにされていますか?!

- 有線放送、部活動連絡網、学校メールなど。
- 各校の顧問へ電話連絡後、各校で連絡網を使い連絡している。
- 各校顧問へ電話またはFAXで連絡している。
- 当日集合する時間を事前に確認し、会場に集合して各校へ連絡している。

③ 現在の告知(連絡)の方法で何か不都合はありますか?!

はい 9.3% いいえ 90.7% ※ はいの具体的記述は下記のとおり。

- 全家庭に有線やメール環境があるわけではないので、不十分である。
- 特に決められたマニュアルがないので、明確化しておいた方がよい。
- 当日の朝に中止や延期が決定された場合、速やかに連絡する手段がない。

## (5) その他

① 災害等への対策がマニュアル化された場合、どのような内容を期待されますか?!

- 効果的な情報収集の方法。
- 連絡網や指令系統の整備・決定について。
- 緊急時の留意事項を優先順位順に並べてあるとよい。
- 指示の仕方とその後の大会の再開方法、中止の決定方法など。
- 中体連からの一斉送信、具体的な生徒への対応など。
- 予想しにくい事態が起きたときの対応。緊急時の連絡先一覧など。
- 伝達・連絡系統の明確化、スムーズに行くようなマニュアル化を期待する。

② 部活動の運営について、問題視されている事柄がありますか?!

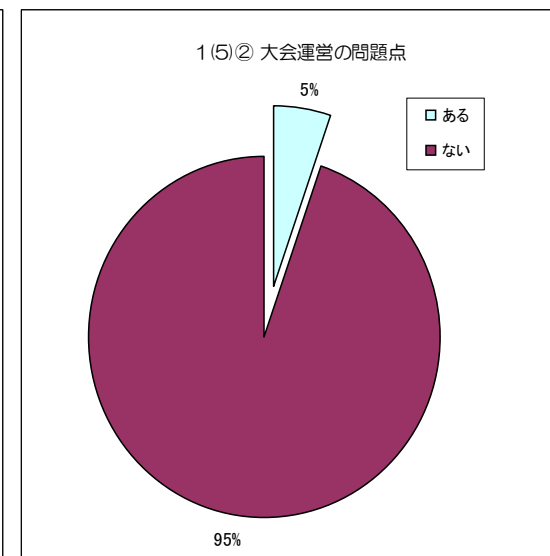
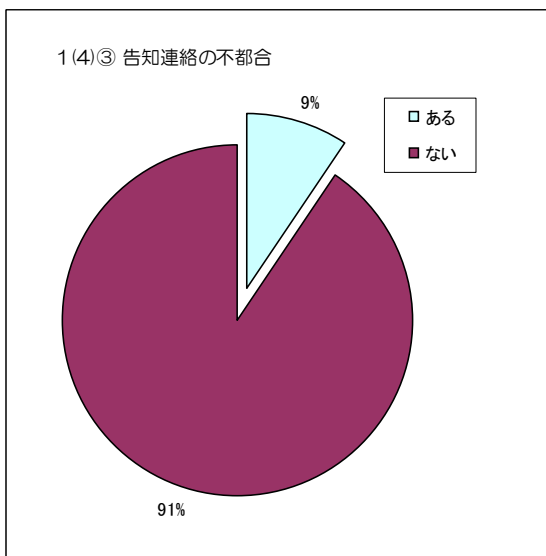
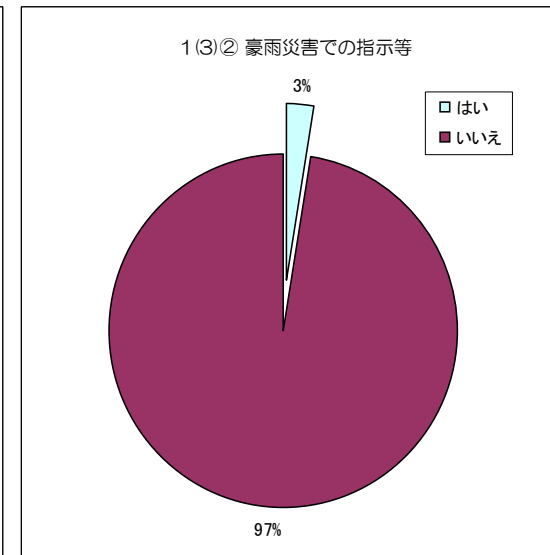
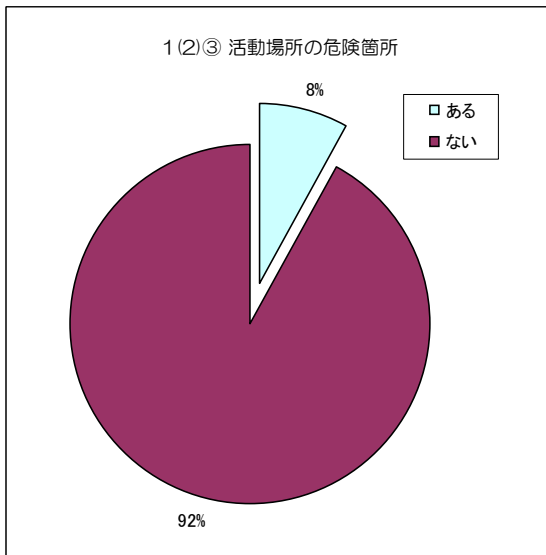
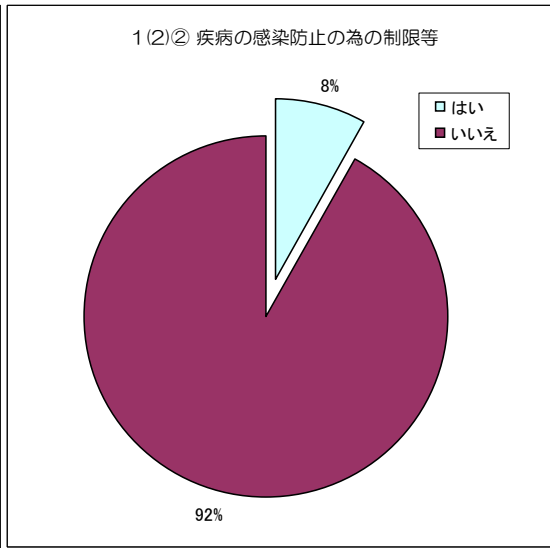
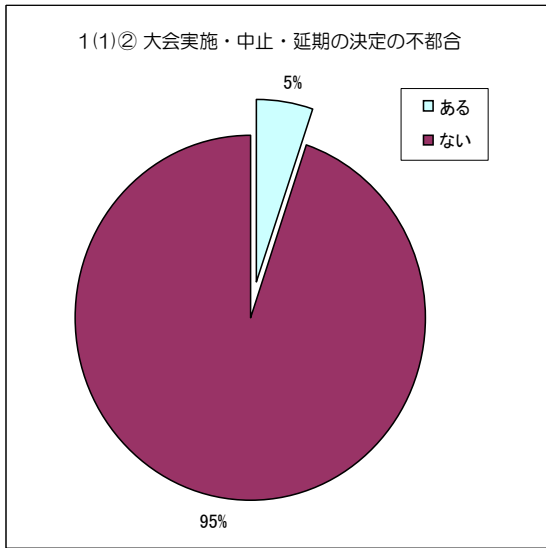
- 災害等発生を予測する時、活動中はよくても、帰宅まで考えて判断する難しさ。
- 急病やけが人が出ないように配慮している。

## 2 選手輸送の問題について

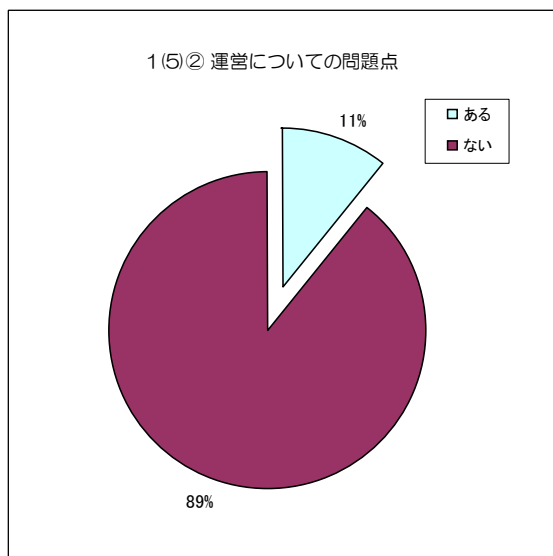
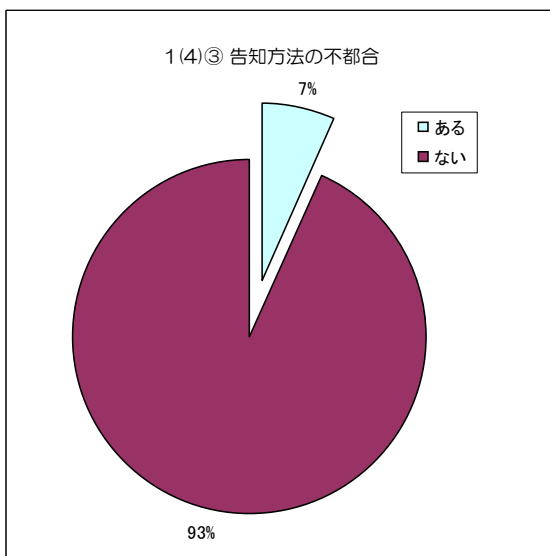
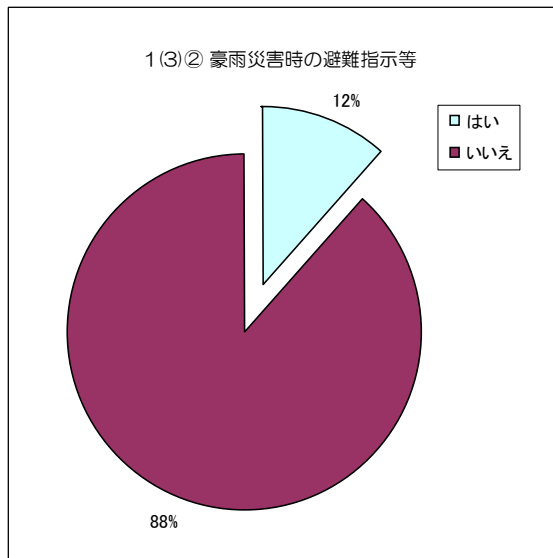
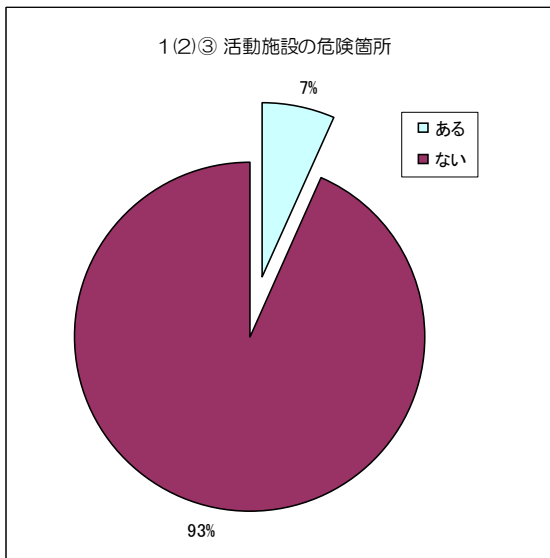
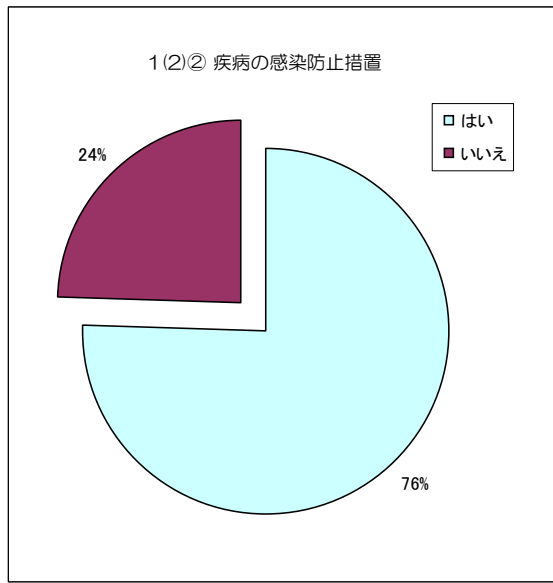
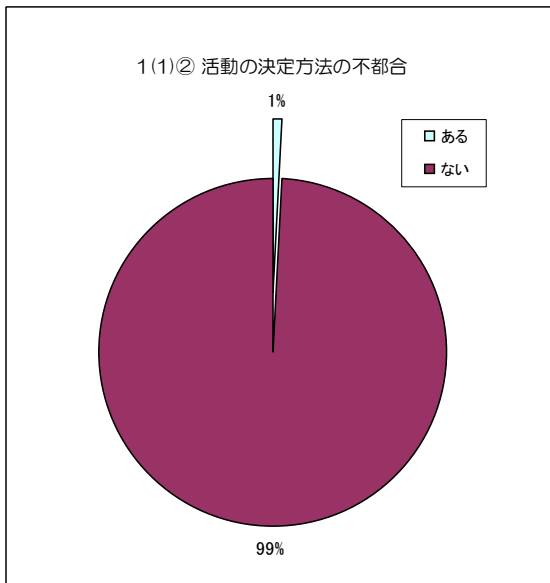
(1) 選手輸送または移動方法で問題はありませんか?!

- 保護者引率による事故時の補償問題
- 支部によっては、必ず公共交通機関でなければいけないところもある。

自然災害などへの対応アンケート 各支部専門委員長集計グラフ



自然災害などへの対応アンケート各校理事集計グラフ



2 以上、数値や記述の内容を見てみると、緊急時の対応には曖昧なものも多く、対応についての手順や要領を分かりやすくまとめるとともに、必要に応じて訓練や打合せを行う必要性も感じられた。

## 終わりに

三年前（2009年）7月21日の大規模な土砂災害や浸水被害では、7月19日から降り始めた雨の積算雨量が21日には280mmを越えたために、各地で土石流や土砂崩れの発生、河川の決壊による家屋や道路の浸水、約5,000棟を越える住家被害の発生、農産・畜産・林産・水産被害などに加え、30名を越える重軽傷者を出すとともに、17名の尊い命が失われ、県内各地に大きな爪痕を残した。奇しくも時期を同じくして山口県選手権大会(中国大会予選)を予定しており、大会の中止や延期はもちろん、会場までの選手輸送についても大混乱となった。中には大会の中止を受けて、会場を出て帰路についたものの、帰宅が翌日になったり、帰宅する地域に各種警報が出されているなどの混乱もあった。

このような大災害の教訓を生かし、災害に対して日頃から関心を持つとともに、状況の把握から報告・連絡・相談や初期対応が速やかに行われること。部活動や大会時において、選手・役員の安全が確保されることを目標として、平成22年より山口県中学校体育連盟では急遽『大会運営危機管理マニュアル』の作成にとりかかった。

災害等に備えて、予報・警告等の発表と情報の収集手段の説明、チェックリストを用いた練習や試合会場の安全点検、自主防災組織の確立と初期対応の手順、災害発生時の初期対応マニュアル、自然環境の変化に対する留意点(熱中症)の項目に分けて整理した。

各種団体や関係機関で作成された災害に対するマニュアル等も参考にさせていただきながら、各学校の部活動担当者や大会運営にあたっておられる各支部理事長・専門委員長にも自然災害等に関するアンケートに協力いただき、作業を進めた。

山口県中学校体育連盟では平成9年配布の「部活動指導者のためのガイドライン」に加えて「災害対策応急対策計画」を併用することにより、より安全に運動部活動や大会運営が行われることを望むところである。

本計画の作成にあたっては、公務御多忙の中、山口県中学校体育連盟各支部や各競技専門委員長・運動部活動指導者各位の協力を得て、従来の活動を再確認するとともに、一歩踏み込んだ安全対策や災害への備えについて示すことができた。作成にご協力いただいた協力者の方々に深く感謝の意を表するとともに、本旨を理解の上、多くの学校現場や大会運営の現場において、安全管理に向けた周知徹底が図られることを期待している。

平成24年3月

山口県中学校体育連盟 調査研究部